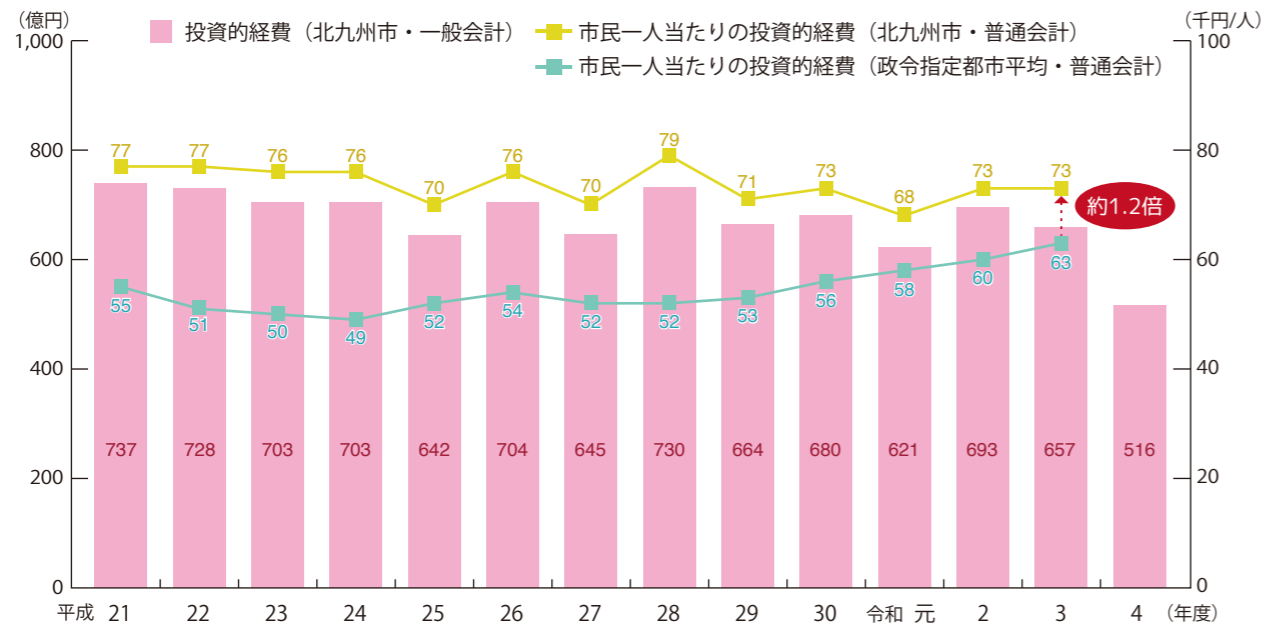


投資的経費決算額(一般会計)と 市民一人当たりの投資的経費(普通会計)の推移

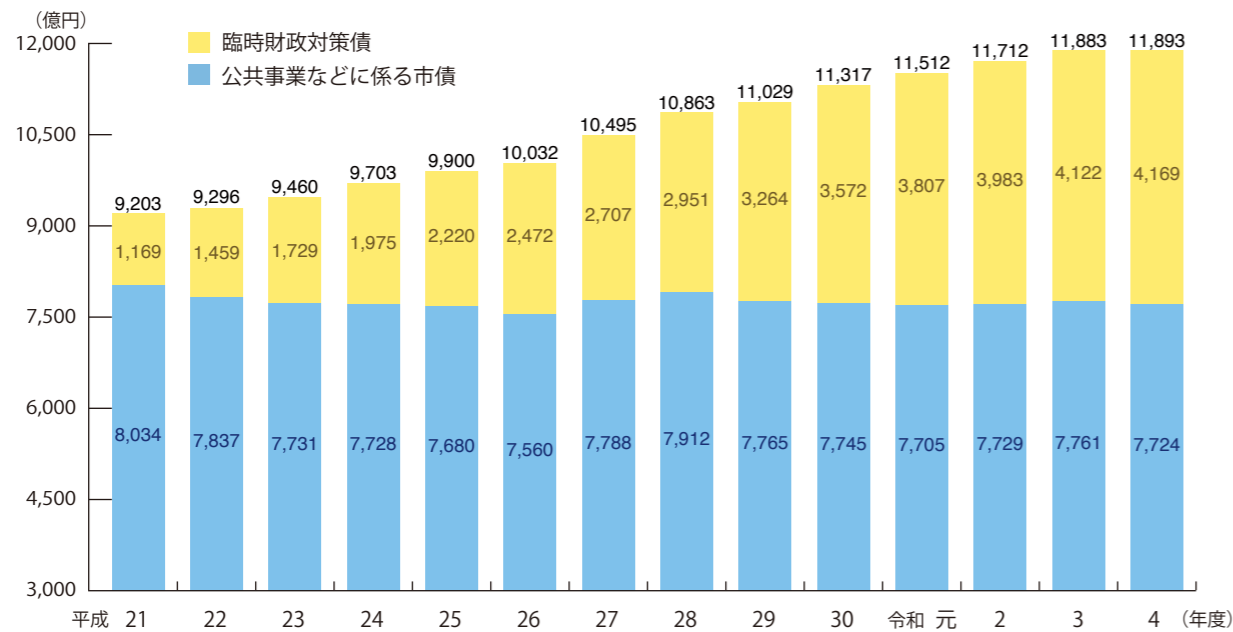
投資的経費は近年700億円程度で推移していましたが、将来世代への負担軽減を図るため、令和4年度から適正水準を設け、620億円/年(環境工場等を除く)とする取組を始めています。



約1.2倍

市債残高の推移(一般会計)

地方交付税の振替である臨時財政対策債の増加等により、市債残高は増加しています。臨時財政対策債を除いた公共事業などに係る市債残高は7,800億円程度で高止まりしています。



財政ひとくちメモ

【なぜ市債を発行するの?】長期間にわたって使用する公共施設をつくる場合の財源は、国や県からの補助金等のほかに、市債(市の借金)を発行してまかない、資金の平準化を図っています。その理由は、つくる費用を便益を受ける将来世代にも公平に負担してもらうという「世代間の公平」にあります。